

明日を担う浦添の子ども達

子どものまちで「宣言」

(子ども達による子どものまち宣言)

みなぐえがの うらをえの こどもたちへ
 み…みんなととも未来にむかて歩んでる
 な…なにこにもめげず
 が…がんばっている私達には夢がある
 え…笑顔あふれるエナルギッショなどのまの
 が…がんばつな心と体をもつ私たちが
 お…おごんに輝くリーダーにむかて
 の…のびゆくステキな浦添をつくること
 う…うたえびかせ
 ら…らしんばんがさしめす未来に
 そ…その笑顔がつくことをねがい
 え…えがく未来予想図を
 の…のどかな音のあるまちへつなげていこ
 こ…このここのまちはぐくまれていくキセキ
 ど…どんなあしたがつまっているのか
 も…もうじゅんびはできている
 た…たのしいステージの始まりだ
 ち…ちいさな手と手をつなぎあい
 へ…平和と笑顔のあるまちをめざして

浦添市では、子ども達を主体とするまちづくりを基本理念として、主役である子ども達が心身共に健やかで、伸び伸び育つことができるようにするため、平成20年11月1日「子どものまちでこ宣言」をしました。今後、市民・地域・行政と協働して子どもに優しいまちを目指します。

ハンドボール王国浦添

本市の小中高生のハンドボールでの活躍はめざましく、幾度となく全国制覇・準優勝を成し遂げ、日本代表やプロ選手も輩出しています。ハンドボールを通して、青少年の健全な育成と明るく活力に満ちた都市を築いていくため、平成16年1月に「ハンドボール王国都市宣言」をしました。



国際交流員と異文化体験

浦添市では、地域の国際化を推進するため、英語圏の国際交流員(CIR)を任用しています。国際交流員は、市立幼稚園や児童センターを訪問したり、図書館での絵本の読み聞かせや市国際交流協会のイベントへの参加を通して子ども達と交流しています。英語や外国のゲームを体験することで、異文化を身近に感じる機会となっています。



少年野球

本市はハンドボールだけでなく野球も栄んで、目覚ましい活躍をしています。子ども達は日々の厳しい練習を重ね、小中学校はもちろん高校では、浦添商業高等学校が甲子園出場を果たすなどの輝かしい実績を残しています。また、毎年行われる東京ヤクルトスワローズの少年野球教室には、多くの子ども達が参加し、プロ野球選手からの熱い指導を受けています。



中学生平和交流事業

本市の平和行政の柱となっている「平和都市宣言」、「核兵器廃絶宣言」の精神を更に高めるため、市内中学生で構成される平和交流団を長崎市に派遣しています。長崎市では、原爆の日に合わせて集まった各地の学生との交流を通して平和について考え、平和を希求する心を培います。

平成23年度からは、戦時中に浦添国民学校の疎開先であった宮崎県日向市の中学生平和交流団を受け入れ、本市平和交流団との交流も始まりました。県内だけでなく県外との状況を学ぶことで、より理解を深め、平和のバトンを繋いでいます。



相撲

浦添市では、子ども達の心身の鍛錬と健康の増進を図ることを目的に相撲にも力を入れており、平成16年には浦添市民相撲場が完成しました。また、毎年小学生を対象に全国的に開催されるわんぱく相撲大会や、てだこまつりでのちびっこ相撲大会では、市内の子ども力士が素晴らしい活躍をしています。将来浦添市出身の大相撲力士の誕生が期待されています。



輝くてだこ市民賞を受賞した子ども達

平成23年4月1日からスタートした、輝くてだこ市民賞。本市に関わる個人や団体が優れた功績を取った人に与えられる輝かしい賞です。スポーツや文化その他の分野で活躍し、全国あるいは世界的規模の大会において顕著な成績を収められた人々が表彰を受け、平成26年3月現在、すでに個人35人、団体5団体(78人、第1号から第18号まで表彰されています)。てだこ市民のますますの活躍に期待の念が高まります。



平成25年12月18日受賞(神森中学校男子ハンドボール部)



平成25年6月24日受賞(宮城小学校リコーダー部)